

# もりぐちぶらり歩きマップ

このガイドマップは、市民の皆さんが守口の歴史や文化に親しみ、愛着をもっていただきたいと考え、作成しました。守口市は昭和 21 年に守口町と三郷町が合併し、その後、昭和 32 年に旧庭窪町と合併し、現在の形となりました。

市内に点在する史跡や文化財、施設は、古代から現在まで守口市がどのような歴史をたどっていったのかを学ぶことができます。このマップには、市民の皆さんが気軽に歩いて、見ていただけるよういくつかのコースを設けました。これらを参考に守口市の歴史や文化財を身近に感じてみてはいかがでしょうか。

## 〈パートⅢ もりぐち歴史館周辺の史跡散策コース〉

### A コース(ゆっくり1日コース)(約 8.2 km)

京阪電鉄「門真市駅」・大阪モノレール「門真市駅」⇒ 7分 ⇒門真市立歴史資料館(門真市)  
⇒ 14分 ⇒願得寺⇒ 5分 ⇒弥治右衛門記念碑⇒ 12分 ⇒堤根神社・伝茨田堤(門真市)  
⇒ 15分 ⇒藤田天社宮⇒ 15分 ⇒大念寺⇒ 15分 ⇒もりぐち歴史館「旧中西家住宅」  
⇒ 4分 ⇒妙楽寺⇒ 16分 ⇒正立寺(寝屋川市) ⇒ 3分 ⇒津嶋部神社⇒ 1分  
⇒京阪バス「宮垣内」停留所

### B コース(藤田・梶・大久保・金田を歩くコース)(約 5.1km)

京阪電鉄「大和田駅」⇒ 10分 ⇒弥治右衛門記念碑⇒ 6分 ⇒藤田天社宮⇒ 15分 ⇒  
大念寺⇒ 15分⇒もりぐち歴史館「旧中西家住宅」 ⇒ 4分 ⇒妙楽寺⇒ 16分 ⇒津嶋部  
神社⇒ 1分 ⇒京阪バス「宮垣内」停留所

### C コース(古川沿いを歩くコース)(約 4.1 km)

京阪電鉄「古川橋」⇒ 8分 ⇒願得寺(門真市)⇒ 5分 ⇒弥治右衛門記念碑⇒ 12分 ⇒  
堤根神社・伝茨田堤(門真市)⇒ (古川沿いを歩く) 19分 ⇒もりぐち歴史館「旧中西家住宅」  
⇒ 4分 ⇒妙楽寺⇒ 4分 ⇒タウンくる「もりぐち歴史館」停留所

(※時間・距離はおおよその目安です。なお、見学時間は含んでおりません。)

## 《コース内の展示施設のご案内》

### ① もりぐち歴史館「旧中西家住宅」

中西家は、近世初期に尾張徳川家と姻戚関係を持ったこと等から、尾張藩大坂天満屋敷奉行等を務めた名家です。主屋の間取りは庄屋層の



居宅と大差ないとはいえ、大戸口や式台付玄関など武家屋敷としての構えをみせ、府下では現存が皆無といわれている在郷の武家屋敷として極めて貴重な遺構です。平成 10 年 2 月 18 日に市有形文化財に指定しました。開館時間は、午前 10 時～午後 5 時まで(入館は午後 4 時 30 分まで)。休館日は月・火及び水曜日。入館料は、一般 200 円、高・大学生 150 円、小・中学生 100 円。詳しくは、もりぐち歴史館「旧中西家住宅」(06-6903-3601) までお問い合わせ下さい。

### ② 門真市立歴史資料館

昭和 63 年に開館し、門真市域で発掘された考古資料をはじめ、民具や農機具、残された古文書など門真市の歴史に関する資料を展示公開しています。平成 4 年には段蔵の外観を持つ収蔵庫棟が併設されました。館内の 2 階展示室では、主に市内でこれまで使われていた民具や農機具を見ることが出来ます。また、1 階展示室では、企画展示を行い、様々なテーマを取り上げて、郷土の歴史や文化に触れていただけるように工夫がしてあります。開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時まで。休館日は月曜日・祝日・年末年始。入館料は無料です。詳しくは、門真市立歴史資料館(06-6908-8840) までお問い合わせ下さい。



### ③ 弥治右衛門記念碑

大久保地区一帯は低地で、特に藤田村は水はけが悪く、稲の水腐れの被害が毎年のおこっていました。



慶安元年(1648)藤田村の庄屋小泉弥治右衛門は、村民の被害を取り除こうと、幕府の許可なしに排水樋をつくったと伝えられています。このため幕府を無視したとして、翌年3月22日に弥治右衛門一家は処刑され、家財・田畑も没収処分になりました。

村民たちは、村のために犠牲になったこの弥治右衛門を、後世に伝えるべく俗名を刻んだ道標をつくり墓碑がわりとし、また、昭和7年(1932)には、この記念碑も建立されました。

### ④ 藤田天社宮

旧藤田村の人たちで守られてきた天社宮で、陰陽道に関する深沙大将、泰山府君、安倍晴明の3つの御祭神が祭られています。



### ⑤ 妙楽寺

延宝年間(1673~1681)の洪水で本堂や庫裏を流失しましたが、天和年間(1681~1684)浄土宗融通派の僧一空知三唱阿上人が檀家と協力して寺を再建しました。しかし、もとは天台宗であったので妙楽の号を称したと伝えられています。

境内には、樹齢約300年、樹高約3.5m、幹回りは根元から30cm上で20~40cm前後、根分け支幹は16本、枝張東西約4.8m南北約7mの「オオムラサキ」、俗称は「ヒラドツツジ」があり、昭和58年に大阪府の天然記念物に指定されています。

### ⑥ 津嶋部神社

この神社は、高瀬神社と共に『延喜式神名帳』に記された由緒深い神社です。



元和元年(1615)5月大坂夏の陣の兵火で社殿が炎上したと伝えられ、その後幾多の再興が行われてきましたが、元禄年間(1688~1704)に再建された社殿は、現在と同規模で相当大きく当時の隆盛がうかがえます。

また当社には、慶長13年(1608)の銘をもつ、<sup>しゃくだに</sup>笏谷石

製の石造狛犬が伝わっており、現時点では府下で最古の紀年銘を持つ狛犬で、平成12年に市有形文化財に指定しました。

### ⑦ 大念寺

延宝2年(1674)の創建と伝えられており、もとは大念仏宗来迎寺末で、明治5年(1872)に、浄土宗となりました。当寺にある石造地藏菩薩立像は、享禄5年(1532)の和泉砂岩製で本市の貴重な石造美術品となっています。

#### 〈門真市域〉

### ⑧ 堤根神社

門真市随一の古社で、「延喜式神名帳」に記載された式内社です。仁徳天皇の時代に茨田堤を築いた茨田宿禰の祖神を祭っています。



### ⑨ 伝茨田堤

堤根神社の本殿右裏にあり、今から千数百年前の5世紀頃に築かれた日本最古の堤防「茨田堤」の名残と伝えられ、大阪府の史跡に指定されています。



### ⑩ 願得寺

当寺は、本願寺8世の蓮如上人が15世紀末に道場を開創したことがはじまりです。その後、永禄年間(1558~70)に蓮如の第23子の実悟上人が当道場を譲り受け、願得寺1世となりました。桃山期には、伽藍が整備されていたものと考えられますが、大坂の陣で焼失したようです。



現在の建物は江戸時代に再建されたものです。本堂・山門・鐘楼は大阪府の有形文化財に、太鼓楼・玄関・書院・客間は登録有形文化財に指定されています。

#### 〈寝屋川市域〉

### ⑪ 正立寺

寝屋川市城内町にある法華宗の寺院で、境内の梵鐘は寝屋川市の有形文化財に指定されています。



